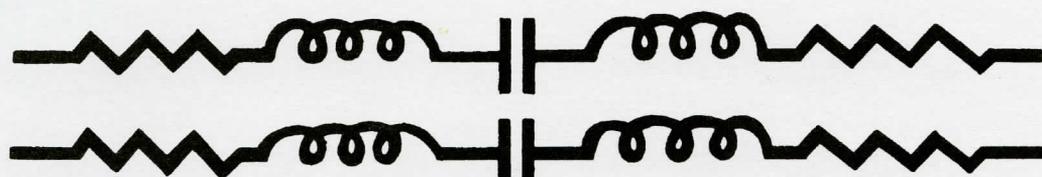


岩手大学電気電子情報科会誌

きたかみ

第 51 号

2005 年 3 月発行



目 次

就任挨拶	会長 佐々木喜八郎	1
草刈賞創設のお知らせ・「草刈賞」選考要項		2
第一回草刈賞受賞者の紹介		3
草刈賞を受賞して		4
電気電子工学科の近況	学科長・専攻長 柏葉安兵衛	7
情報システム工学科の近況	学科長・専攻長 厚井裕司	8
電気系学科の構成員名簿		9
《支部だより》平成16年度仙台支部総会および懇親会		10
平成16年度東京支部大会		11
平成16年度電気電子情報科会総会		12
平成16年度電気電子情報科会総会議事録		13
平成15年度決算書		14
平成16年度予算書		15
平成16年度電気電子情報科会役員名簿		16
平成15年度役員会経過報告		18
年表		19
2004年10大ニュース		23
編集後記		23
平成17年度総会並びに懇親会開催の御案内		裏紙

就 任 挨拶

電気電子情報科会 会長 佐々木喜八郎



平成 16 年の春の理事会において、太田原会長が突然辞意を表明され、あっと言う間に選考委員会からの指名で会長候補となり、総会において会長をお引き受けする羽目になりました。15 年前に岩手県庁を退き、最近ようやく雑用からも離れ、ゆっくり海外旅行でも楽しもうと思っていた矢先の、まさに晴天の霹靂です。

当科会は、一昨年は実行委員会のもとに草刈先生の生誕記念事業に取り組み、工学部正面のロビーには草刈先生の厳とした胸像が建ちました。模範的な科会学生の表彰制度も発足し、更には科会資金調達のための新たな会費納入制度も、15 年度の仙台での総会において承認されるなど、当面の懸案事項はすべて処理されております。これらは総て前太田原会長の巾広い見識と手腕によるもので、会長在任中の並々ならぬ御努力に対して敬意を表する次第です。

それに反して私は、戦後の専門学校から新制大学に学び、学業よりもクラブ活動などで青春を謳歌して卒業した変わり種で、最近の法人化された学内事情についても殆ど分からず、現職の柏葉先生のお話から全体像を知る程度であります。しかし会長をお引き受けした限りは、極力情報を得て、精一杯科会の発展のために取り組んで行く所存であります。

当面の課題は、卒業生の諸氏から卒業後 10 年毎に会費 1 万円を納めて戴くという実務です。一昨年の仙台での総会で承認されたとは言え、会員の皆様には更に詳細な説明が必要かも知れません。理事会で幾度も議論された上で提案された事でもあり、主なる要因を繰り返せば次の通りであります。

- ① 会員総数の逐年増に伴う経費の増。
- ② 新入生の減少に伴う会費納入の減。
- ③ 預金利息の激減による積立金の取り崩し。
- ④ 新たに収入を確保して科会活動の健全化を計る。

納入時期に該当する諸氏には、以上のことを御理解の上、何卒会費の納入にご協力下さるよう、お願い申し上げます。

また長年事務局を担当し、科会業務を軌道に乗せて戴いた才子、歳弘健氏は、新星、柳橋好子さんと事務を交代しました。私共々宜しくお願いいたします。

私事ですが昨年暮れ、友人等 4 人でプーケットやピピ島に旅行しておりましたが、幸運にもインド洋津波の直前に帰国しました。今でもテレビで見る大自然の脅威に身が震え多くの犠牲者のことが頭を離れません。しかし一部の町は既に立直り平常の仕事が始めています。タイ国のマイペンライ（くよくよしない）という言葉は、このような時こそ、立ち上がる力になるのではないのでしょうか。

— 草刈賞 —

草刈賞創設のお知らせ

草刈賞委員長 太田原 功

「草刈先生ご生誕 100 年記念実行委員会」によって「草刈賞」が設けられました。草刈先生がその基礎を築かれた電気電子工学科と情報システム工学科に学ぶ学生達に、有意義な学生生活を過して頂きたいとの願いを込めた賞であります。選考のうえ、両科 3 名以内、計 6 名以内を卒業時に工学部長名で表彰することと致しました。

科会ではこれに先立って、教授会で卒業が認定された時点で新入正会員歓迎会をおこない、その席で被表彰者を紹介する予定であります。表彰状と記念品が贈られますが、記念品は草刈先生の肖像を模写したメダルとしてあります。この賞を通して草刈先生のご遺徳が後輩に伝達されることを願ったものであります。

平成 15 年度の卒業生から実施の予定で、そのための資金が実行委員会から岩手大学に寄付されました。詳細については“岩手大学工学部「草刈賞」選考要項”をご覧ください。

「草刈先生ご生誕 100 年記念実行委員会」が創設した「草刈賞」の 10 年間にわたる円滑な実施のために、科会では平成 16 年度以降の事業の中に「草刈賞支援事業」を立ち上げたいと思っております。内容としては、「受賞候補者選考の支援」と、在校生啓発のための「草刈先生を語る会」などです。会員の皆様のご助言を仰ぎながら、実のある事業に育てて参りたいと考えておりますので、随時ご意見を賜りたいと存じます。よろしくご意見申し上げます。

(きたかみ 50 号より)

「草刈賞」選考要項

平成 16 年 1 月 7 日制定
工学部学科長会議承認

1. 趣 旨

盛岡工業高等学校（岩手大学の前身）電気科教授・初代科長、岩手大学工学部教授及び第 4 代、第 7 代工学部長として岩手大学の発展に貢献された草刈遜先生のご生誕 100 周年を記念して、草刈先生ご生誕 100 周年記念事業実行委員会からの寄附により、工学部に「草刈賞」を設置する。

2. 目 的

草刈先生の教えを後世に伝えるとともに、意欲的な学生生活を送った者を表彰し、その栄誉を讃えることを目的とする。

3. 表彰対象者

表彰対象者は、工学部電気電子工学科及び情報システム工学科（以下「両学科」という。）を卒業予定の学生のうち、学生の模範となる学生生活あるいは後輩の目標となる学生生活を送った者で、原則として両学科各 3 名以内とする。

4. 選 考

- (1) 受賞候補者選考のため、「草刈賞」選考委員会（以下「選考委員会」という。）を置く。
- (2) 選考委員会は、両学科の学科長、両学科から選出された教員各 1 名及び電気電子情報科会から選出された者 2 名の計 6 名で構成する。

5. 受賞候補者の推薦

両学科の学科長は、受賞候補者を推薦理由書を付して選考委員会に提出する。

6. 選考結果

選考委員会は、選考結果を学部長に報告する。

7. 表 彰

受賞者には、表彰状及びメダルを贈呈する。

8. 表彰の時期

受賞者の表彰は、原則として卒業式当日に行なう。

9. その他

本要項に定めるもののほか、実施に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

本要項は、平成 16 年 1 月 7 日から施行し、平成 15 年度卒業生から適用する。

第1回草刈賞受賞者の紹介

(平成16年2月27日選考委員会決定、平成16年3月23日工学部長授与)

第1回草刈賞受賞者は下記の通りです。メダル番号、受賞者氏名、受賞理由の順です。メダル番号は001を初番とした通し番号です。メダルに刻印されており、来年度以降への続き番号となります。

《電気電子工学科》

001 上野大輔 (かみわの だいすけ); 礼儀正しく、社会性、協調性に富む。正義感が人一倍強く、級友からの人望が厚い。研究室対抗のソフトボール大会ではリーダーシップを発揮し、攻守にわたって活躍した。卒業論文は、実験に対する感性の良さで成果を挙げた。工学研究科博士前期課程進学。

002 菊池孝信 (きくち たかのぶ); 責任感の強い、礼儀正しい好青年である。疑問点は、図書館等における学習の他、教官室を訪問して納得の行くまで質問する。スノーボードを楽しむ他、軽音楽部に所属してギターと作曲を担当し、大学祭を盛り上げた。(株)日立東日本ソリューションズに入社。

003 澤田定秀 (さわだ さだひで); 誠実明朗で向学心に富む。責任感が強く、気配りもきく学生で、級友の信望も厚い。学科のイベントでは、常に企画側の中心となってよく動き、人と人をつないだ。卒業研究への取り組みも熱心。工学研究科博士前期課程進学。

《情報システム工学科》

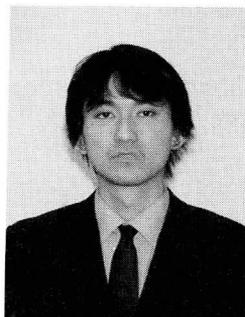
004 須藤功平 (すとう こうへい); ソフトウェアに関する知識と能力は学生のレベルをはるかに超えており、以下の実績を有する。即ち、(1) Ruby de XML - Ruby で始める XML! オーム社 2002年2月版 単著、(2) デジタル・イーハートブ・グランプリ 2003 学生大賞、同特別賞 (アイシーエス賞)、(3) その他、多数のオープンソースプログラムを開発・公開すると共に、開発分野で世界に向けた情報を発信している。工学研究科博士前期課程進学。

005 劉路 (りゅう る); 数多い中国出身留学生の中でも、特に熱心に盛岡市日中友好協会が行う行事に積極的に参加し、日中友好の橋渡し役として活躍している。平成15年7月に上田公民館で行われた全15回の中国語教室の講師として活躍の様子が同年7月17日の岩手日報で紹介された他、中国語体験講座講師など数多くの行事に貢献している。工学研究科博士前期課程進学。

《選考委員氏名》 電気電子工学科; 柏葉安兵衛学科長、田山典男教授、
情報システム工学科; 渡邊孝志学科長、千葉則茂教授、
電気電子情報科会; 太田原功会長、阿部源祐顧問

草刈賞を受賞して

電気電子工学科 上和野大輔



2004年、世界中で天災、人災等が多く、多くの尊い命が失われました。ご冥福をお祈りいたします。

その中で、自分は病気もせず、大学生活を過ごせたことは嬉しく思います。

さらに、卒業の際に電気電子工学科を代表し、「草刈賞」を受賞できたことを大変誇りに感じています。また、大学生活を送るにあたり、両親、大坊真洋先生、先輩、友人と様々な方々

のご協力を頂きました。この場を借りて謹んで感謝の意を表します。

今後は、常に先を見据えた判断・行動をし、地元の岩手だけに留まることなく、国際的に活躍出来るように頑張っていきたいと考えております。そのためにも、日々努力することを怠らず、失敗を恐れず、何事にも積極的に取り組んでいきたいです。また、良い意味で後輩達の模範になり、日々の活動が活発・有意義になり、互いに成長していければ良いと考えております。皆様、今後も何卒よろしくお願い申し上げます。

電気電子工学科 菊池孝信



私は、岩手大学工学部電気電子工学科を平成16年に卒業しました菊池と申します。在学中は、計算機ホログラムについて電気システム講座の大坊研究室で学んでおりました。

現在は、システムエンジニアとして充実した日々を送っております。この仕事を始めて、大学時代に学んだことが現在の仕事の中でも役立つことが多くあり、仕事をする上で役に立っております。

私が記念すべき第1回草刈賞を受賞できたのは諸先生方の熱心なご指導・ご支援のおかげで

あると思います。ありがとうございました。草刈賞を受賞してよかった事は、自分に自信がもてるようになった事です。おかげで、自分に自信を持って仕事に取り組むことができ、この度の受賞を非常にうれしく思っております。大学時代は、皆様の支援のお陰で快適な環境の中、研究を進めることが出来ました。ありがとうございました。岩手大学の環境は非常に素晴らしいと思います。この環境の下4年間過ごせて、非常に良かったと思っております。

後輩達がこの素晴らしい環境の下、優れた研究を進め、また実りのある学生生活の日々を送ることが出来るよう期待しております。

電気電子工学科 澤田定秀



この度の草刈先生ご生誕100年記念にあたり第一回草刈賞を受賞する栄誉を受け賜り、光栄の極みで大変感激しております。思いがけない受賞でしたが、これも今まで温かくご指導くださった先生方、そして私のことを支えてくれた家族、友人のおかげでございます。

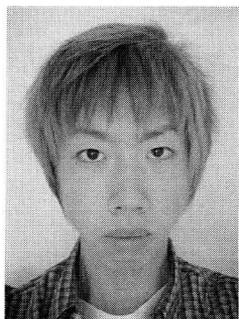
私の大学生活4年間を振り返ってみると、勉学、研究、サークル活動、イベント活動への参加など様々なことに積極的に取り組んだ4年間であったと感じております。勉学では、高校時代よりも数倍も高いレベルの授業に、はじめはついていけるかとまどいながらも、友人と教え教わりながら必死にがんばったことを今でも覚

えております。特にパソコンの実習で、ひとつのプログラムを完成させるのに、毎晩夜遅くまで学校に残っていたことを思い出します。サークル活動では、以前にバドミントンを経験していたこともあり、部員が50人を超えるバドミントンサークルでの部長も経験いたしました。ここでの経験は人を引っ張っていくことの難しさ、そして先頭に立つ者の責任感というものを私に教えてくれました。

私にとって大学生生活のすべてが貴重な経験でかけがえのない財産となりました。今後もさらなるステップアップに向けて決意を新たにしております。

最後に、大学生活において多くの方から励まされ、ご指導いただいたことが、今回の草刈賞受賞という実を結んだものと確信しております。心より感謝申し上げます。

情報システム工学科 須藤功平



早いもので、記念すべき第一回草刈賞を受賞してからもうすぐ一年が経とうとしています。当時、受賞した本人である私よりも両親の方が喜んでるのが思い出されます。学部卒業という一つの区切りの時に華を添える事ができ、また、両親に喜んでもらうことができたため、私にとって非常に意義のある受賞であったと感じています。

以下、推薦理由にあがった事柄についての受賞後の様子を述べます。

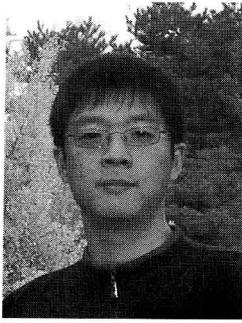
オープンソースソフトウェアの開発・公開は現在も続けています。新規にプレゼンテーションソフトウェアなどを開発しました。また、当時から開発していたソフトウェアの改良も継続

して行っており、私の開発したライブラリの一つが先日リリースされたプログラミング言語Rubyのバージョン1.8.2に標準添付されました。

デジタル・イーハートブ・グランプリ2003で学生大賞および特別賞（アイシーエス賞）を受賞した私が開発したWebアプリケーションに関しても動きがありました。このWebアプリケーションを利用して構築されたサイトが登場しました。

インターネットを身近に感じられる地域作りを目指して私を中心に活動しているCOZMIXNGは2004年12月に2年目を迎えました。新しいプロジェクトが発足したり、岩手内外問わずに参加者が増えるなど受賞時よりさらに活発に活動しています。

情報システム工学科 劉 路



日本に来て、今年で六年目になりました。ずっと岩手県に住んでおりまして、岩手県はもう私の第二の故郷だと言えるでしょう。岩手大学の工学部情報システム工学科の

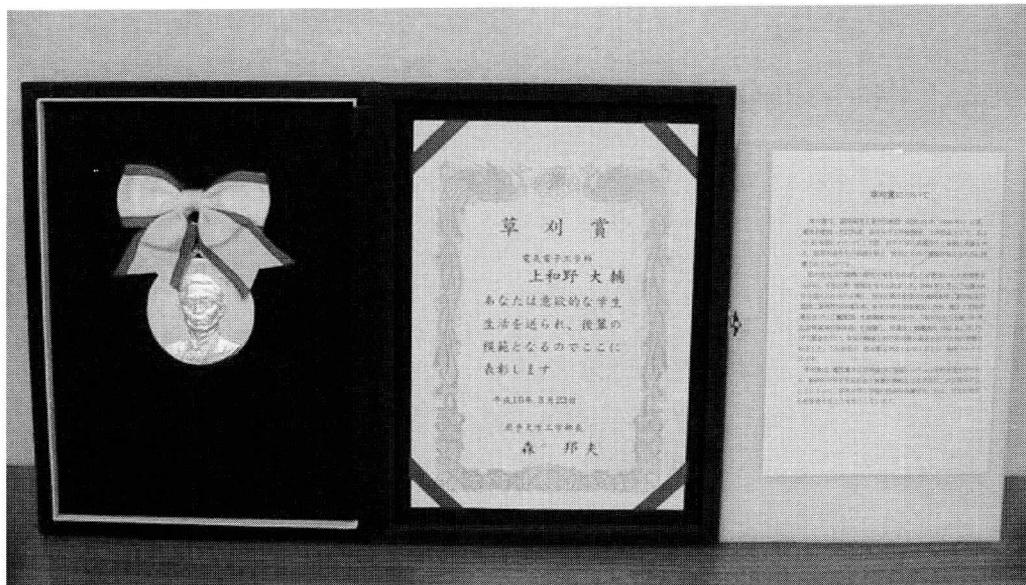
学部生として五年前に入り、先生方のお陰で去年の四月に推薦により大学院生になりました。

学部生の四年間に、一生懸命に専門知識を勉強してきた他にも様々な国際交流活動に参加させていただき、母国の言語や文化・習慣や料理など、多くのことを周りの日本人の方々に伝えることが出来ました。私も異文化のコミュニ

ケーションと言うものを通し、文化や習慣などの違いを比べ、日本の文化を理解していく中で大変勉強になりました。

草刈先生を記念するために初めて設置された草刈賞を私が受賞したことは、特に留学生の私にとって驚いたと同時に大変光栄なことだと思っております。このことを機会として、学校の勉強により力を入れて努力することはもちろん、ボランティア活動にも取り組んでいきたいと思えます。地域の交流だけではなく、より広い範囲で活動していきたいと決心しました。

最後に長い間、先生方のご指導ご鞭撻をご衷心より感謝いたします。



草刈メダルと賞状

これと同じメダルを記念にほしいという会員の希望により用意しました。1個6,000円（通し番号なし、賞状なし）。
購入希望の方は事務局まで

電気電子工学科の近況

電気電子工学科 学科長・専攻長 柏葉安兵衛

会員の皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

電気電子工学科の現在の入学定員は、学部60名、大学院博士前期課程電気電子工学専攻（修士）14名、大学院博士後期課程電子情報工学専攻（博士）5名（情報と合わせて）ですが、学部では高専などから3年生に毎年10数名の編入がありますので、卒業対象学生は70数名となります。また、大学院博士前期課程進学者は学部卒業生の5割を超え、入学定員を大幅にオーバーしている状況です。これらの学生に対し、教員16名、技術室から6名の技術員の協力を得て教育研究にあたっています。教員数は前年度より3名減りました。馬場先生と西館先生のお二人が4月に新設された独立大学院「フロンティア材料機能工学専攻」に移られたのと、加藤弘典先生が富士通ゼネラル(株)に転出されたためです。馬場先生と西館先生には引き続き学科の授業、卒業研究指導など、ご協力を頂いております。

大学の使命は教育、研究、社会貢献といわれています。学生を教育し、有用な人材として社会に送り出すために、学科としての教育理念、教育目的及び学習・教育目標を検討していましたが、昨年4月にまとまりました。玄関に掲げていますので、ご来訪の折りにでもご覧になって下さい。現在この精神に則り、教育改善を進めているところです。これまでも、卒業生の皆様に様々な授業の講師をお願いしたり、インターンシップの学生の受け入れ、あるいは工場見学の受け入れなど、ご協力を頂いて参りましたが、今後とも教育活動に対しまして一層のご協力をお願い申し上げます。

前号でご紹介しましたように、当学科では様々な課題について研究を行っています。これらの研究は、会員との共同研究の成果としてすでに実用化されて社会に役立っているもの、あるいは実用化が進行中のもの、地道に基礎的研究を行っているものまでその完成度はバラバラですが、共同研究など関心がございましたなら、是非担当者にご連絡下さい。また、16年度文部科学省が募集していた21世紀COEプログラムとして、「熱-生命システム相関学拠点創生」プログラムが岩手大学最初のCOEに採用されま

したが、当学科の長田先生（科会理事、事務局担当）がそのスタッフの一員として、重要な一翼を担っております。この研究は、冬の寒い中にもかかわらず、自ら発熱し温度を一定に保っている「座禅草（ザゼンソウ）」という仏像の形をした植物の熱応答システムに基づく新しい工学デバイスの開発や生物の熱応答シミュレーションモデルを構築し、革新的な学問領域を創成しようというユニークなもので、大きな期待が寄せられています。

昨年11月名誉教授岩田純蔵先生がお亡くなりになりました。享年80才でした。岩田先生は、本学科の前身である電気工学科の第一回の卒業生で、日立電子株式会社、日立中央研究所を経て、昭和43年から平成2年のご退官まで本学電子工学科、情報工学科で教育研究にあたられました。アナログ制御の研究で大きな業績をあげられたばかりでなく、宮沢賢治の「雨ニモ負ケズ」に出てくる理想の人物像を彷彿とさせるお人柄に、多くの卒業生が慕っていた先生でした。心からご冥福をお祈りいたします。

昨年度、草刈先生ご生誕100年を記念して卒業生から頂いた「草刈賞」の第一回受賞者に当学科から上和野大輔君、菊池孝信君、澤田定秀君の3名が選ばれ、卒業式当日工学部長から表彰されました（詳細は本誌参照）。当人はもとより、後輩学生の励みになっております。また、工学部玄関に設置された草刈先生の胸像は、周りにすっかりとけ込んできました。通りかかる学生、お客さん、教職員が腰をかがめて銘板に目を凝らしている姿を時々見かけます。

就職はこの景気低迷の世の中にもかかわらず、お陰様で10倍以上の求人があり、希望者全員が内定しました。これも会員の皆様がこれまで築いてこられた高い評価のお陰でありまして、衷心よりお礼申し上げます。次第です。

昨年4月から岩手大学も法人になりました。何が変わったかということを一口に申し上げるのは難しいのですが、少しずつ変わって来たように思います。法人化を機に、本学科も教育研究に一層努力する所存です。今後ともご支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

情報システム工学科の近況

情報システム工学科 学科長・専攻長 厚井裕司

今年度は、岩手大学の独立法人化とともにスタートいたしました。発足当時は余り見えなかったその影響が、次第に本学科にも影響を及ぼし始めています。予算や人事の面で効率的な運用が求められるようになっており、学科としても今後の教育や研究をどのように進めていくか再検討を余儀なくされています。その他、最近ではエネルギーや資源の節約という地道な活動から着手するよう心掛けております。

本学科は、現在教員 21 名と技術部から 8 名の応援を得て教育と研究を行っています。この 1 年間における教員の異動としては、以下 2 件がありました。最初はプリマ・オキ・ディッキ・アルディアアンシャー教務職員が岩手県立大学に転出した件です。次は、横山教授に関するものです。横山教授はタイ国アジア工科大学に JICA で 2 年間派遣されていましたが、平成 16 年 4 月に帰任いたしました。

学科の定員は 70 名で、留学生も数名います。今年の 3 月には本学科 3 年の松浦千凡（ちひろ）さんが 1 年飛び級を実現し、3 年で卒業して早期卒業制度の初の適用者になりました。4 月からは大学院博士前期課程（修士）へ進学しています。本学科では実力のある学生の才能をさらに伸ばすために、今後も成績優秀者に早期卒業制度を積極的に適用していくつもりです。また、学生に対して「ユビキタス社会」を実現するネットワーク技術の教育を充実すべくネットワーク実験科目の設置準備を進めてきましたが、来年度から従来の情報工学実験Ⅰおよび情報工学実験Ⅱのテーマを見直して、LAN を利用した基礎的な実験からメールや Web を含めた応用実験までを教育プログラムに組み入れることができました。これにより本学科出身学生の特徴であるハードウェア、ソフトウェアさらにはネットワークまで理解できる幅広い人材を産業界に送り出す下地ができたと考えております。

日本経済に明るい兆しが見えたといっても、就職状況については未だに厳しい状況が続いて

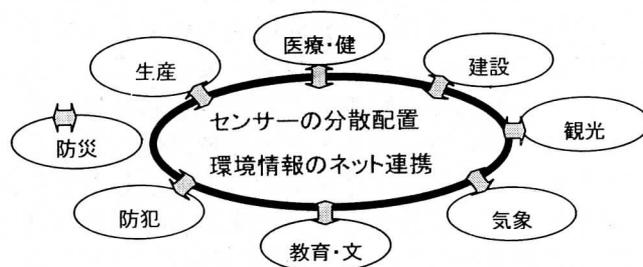
います。就職のパターンとしては、従来から自由応募と大学推薦の 2 種類があります。ソニー(株)が学校推薦制を完全撤廃したように、今後自由応募を重要視する企業は確実に増えると考えられます。これからの傾向としては、本人の表現力や対応力に基づき、あくまでも人物本位に自由応募で採用する企業が増えそうです。いわゆる自由競争の世の中に変わりつつあり、口下手で実直な学生にとっては相当厳しいものになりそうです。

しかしながら本学科の学生の多くは、日本を代表する大企業から地元の中堅企業まで幅広く内定を得ています。今後は、国家公務員や地方公務員を志望する学生達の就職が課題となります。

一方、本学科では従来のリモートセンシング技術を踏まえて、さらに音・画像等の多様なセンシング技術と収集したセンシングデータを安全に転送するネットワーク技術を組み合わせたスマートセンシング技術（下図参照）の重要性が認識され始めています。関係メンバが協力して、この技術に組織的に対応すべくスマートセンシング・プロジェクト構想の推進を進めています。

本学科は、今後もこのような情報通信の基盤となるコンピュータを廻る様々な技術革新に対応できるように自己革新に努めて参りたいと考えています。皆様のご支援をお願い致します。

スマートセンシング技術



○ 各種センサーの分散配置

電気系学科の構成員名簿

電気電子工学科 (学科長 柏葉安兵衛 教授)			情報システム工学科 (学科長 厚井裕司 教授)		
講座	職 名	氏 名	講座	職 名	氏 名
電子デバイス工学	教授 教授 助教 助教 助講 助	道上 修 馬場 守* 岡 英夫 西館 数芽* 久保田 賢二 橋本 健男 *フロンティア材料 機能工学専攻所属	計算機システム学	教授 教授 教授 助教 助教 助講 助	厚井 裕司 西谷 泰昭 安倍 正人 鈴木 正幸 永田 仁史 平山 貴司 藤岡 豊太 佐藤 信
電子システム工学	教授 教授 助教 助教 助講 助	柏葉 安兵衛 田山 典男 恒川 佳隆 長田 洋 大坊 真洋 佐藤 宏明	知能システム学	教授 教授 教授 助教 助教 助講 助	横山 隆三 渡邊 孝志 西山 清二 三輪 譲久 吉森 彰男 木村 直司 中谷 直史 千 葉
電気エネルギー工学	教授 教授 助教 助教 助講 助	藤原 民也 山田 弘 高木 浩一 高 寛 旗 晋也 成 田 政 向 川 治	メディアシステム学	教授 教授 助教 助教 助講 助 事務補佐員	千葉 則茂 今野 晃市 李 仕剛 藤本 忠博 荒木 徹 懸 田 ひかる
技 術 部	主任技術専門職員 主任技術専門職員 技術専門職員 技術専門職員 技術専門職員 技術専門職員	加藤 昭二 板垣 稔 菊地 新司 千葉 茂樹 太田 康治 栗田 宏明	技 術 部	技術専門職員 主任技術専門職員 技術専門職員 技術専門職員 技術専門職員 技術職員 技術職員 技術職員	沼田 徳重 吉田 功 相馬 孝志 阿部 英志 那須川 徳博 萩原 由香里 庄司 こずえ 福岡 誠

《支部だより》

平成 16 年度仙台支部総会および懇親会

仙台支部総会が平成 16 年 7 月 16 日（金）18 時よりハーネス仙台にて実施されました。

本部の佐々木会長、柏葉電気電子工学科長を迎え、支部会員 35 名の出席でした。

総会は、千葉支部長の挨拶、来賓である佐々木会長の挨拶ののち、石川会計理事の会計報告と小林監事の監査報告、役員改選の提案があり、これらを承認しました。役員改選では、新支部長に電気 11 回（38 年卒）齊藤健氏、副支部長に電気 11 回岡本康之氏、電気 16 回野坂武弘氏が選任されたほか役員数を 30 名とし、大幅増員を図り支部の活性化を図っていくこととしました。

総会后に、来賓の柏葉電気電子工学科長より、大学の法人化並びに電気電子工学科の近況についてパソコン、プロジェクターを使っての判りやすい講演をいただきました。出席の支部会員の方々は、最近の変化の目まぐるしさに、感慨も深げでありました。

引き続き佐藤雄一郎氏の司会により懇親会に移り、齊藤新支部長の挨拶、佐々木本部長のご挨拶をいただき、工専 1 回（16 年卒）阿部相談役の乾杯の音頭により懇親会との開会となりました。昨年の草刈遜先生の生誕 100 年記念法要、本部総会、懇親会などの話題で大いに盛り上がった懇親会は、工専 9 回加藤理事の指揮による同袍寮歌の斉唱ののち、締めは電気電子 3 回城前氏、電気電子 5 回木村氏と電気電子 6 回宮城氏の若手トリオの万歳三唱でお開きになりました。

なお 17 年度の総会は 7 月 16 日土曜日に開催の予定で準備を進めることになっています。

またこの支部総会の同日に草刈先生の墓参会を行うことも準備中ですので詳細決定しだいホームページなどでご紹介いたします。



平成 16 年度 岩手大学電気電子情報科会仙台支部総会

平成 16 年 7 月 16 日
ハーネス仙台(青葉区本町)

《支部だより》

平成 16 年度東京支部大会

東京支部長 澤 藤 隆 一



平成 16 年度の電気電子情報科会東京支部大会は平成 16 年 10 月 2 日（土）首相官邸を見下ろす霞ヶ関ビル 33 階・東海大学校友会館にて開催されました。出席者は 36 名と、東京支部にしては少数に終わりました。

午後 4 時から行われた支部大会は山田副支部長の司会進行で始まり、まず寺井支部長の挨拶、続いて 1) 平成 14・15 年度事業報告、決算報告承認、2) 平成 16・17 年度事業計画案、予算案審議を行い承認されました。次に支部役員の改選が提案され、下記スタッフが承認されました。

支部長：澤藤隆一（S47 電気）＝ 新任

副支部長：山田 均（S47 電気）

同 会 計：山内利明（S55 電気）＝ 新任

会 計：畠山 主（S54 情報）＝ 新任

事 務 局：飛世政和（S44 電気）

会計監査：寺井正行（S41 電気）

今回退任された工藤英彦氏（S45 電子）と久保田博氏（S40 電気）のこれまでのご功績に感謝し、心より敬意を表します。

続いて午後 4 時 30 分より講演会第 1 部、主題「草刈先生ご生誕 100 年記念事業を終えて」講師：阿部源祐氏（専 1・S16）仙台からご来臨。電気系の産み育ての親であった故草刈 遜先生のご生誕 100 年目の 2003 年 6 月、岩手大学工学部 1 号館玄関ホールに設置された草刈先生の胸像の除幕式と贈呈式、仙台市で行われた輪王寺での追悼供養、会場を仙台駅前のホテルメトロポリタンに移して草刈先生の思い出を語る会が

行われた。有志がお金を出し合って行われたこの記念事業の実行委員長としてその模様を報告頂きました。ご高齢ながら全く原稿も無しに背筋を伸ばして講演され、感銘を受けました。

続いて第 2 部は電気電子工学科長の柏葉安兵衛教授（電気 11・S38）が大学法人となった岩手大学の現状について講演されました。スライドは昭和 14 年の盛岡高等工業学校上田校舎整地作業を行う学生達の姿や昭和 18 年の校舎と同袍寮のセピア色の写真紹介から始まりました。パンフレットから抜粋した美しい画像や大学構内の主要な建物の写真から岩手大学が目指すもの、収支状況、有力 108 大学の工学系学部研究力調査で 26 位にランク、岩手大学東京オフィス開設の紹介、電気・電子・情報各科の研究紹介、最後に再び美しいキャンパス写真で締めくくるという硬軟取り混ぜた講演でした。短い時間に盛沢山の内容を手際良く講演され、好評でした。午後 5 時 30 分より懇親会を行い、来賓挨拶は科会会長の佐々木喜八郎氏（S28）、副会長の柏葉安兵衛教授（S38）、東京金属物性科会・万石会長で、乾杯音頭は澤藤支部長、和気藹々と懇談する傍らいろいろな方にスピーチを頂きました。ホームページ画像を投影して紹介も行われました。窓の外に東京のきらびやかな夜景が映る午後 7 時 30 分、寺井前支部長の閉会の辞でお開きとなりました。運営年次の昭和 54、55 年卒（取り纏め：畠山主、山内利明）、今大会の開催に最大のご苦勞を頂いた事務局の飛世 政和氏（S44）に、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。有難うございました。

次は参加者を増やすための工夫をしてみたいと思いますのでご協力の程お願い申し上げます。

平成 16 年度岩手大学電気電子情報科会総会

平成 16 年度岩手大学電気電子情報科会総会は平成 16 年 6 月 12 日（土）盛岡市大沢川原の国保会館に於いて、電気電子工学科藤原学科長代理を来賓にお迎えし、太田原会長はじめ 30 人の出席で行われました。

木村理事の司会で、会長の挨拶に続き、議長・書記が選任され、議事は、歳弘議長の進行によって、議案はほぼ原案通り可決されました。

特に事業に「草刈賞の選考」を加え、今後とも草刈先生の教えを後世に伝え、意欲的な学生生活を送った後輩を選考していくことを承認しました。

また、会員増加などによる経費の増大に対して、卒業後 10 年を経過した会員からの年会費徴収についても、予算案に盛り込まれ、可決されました。

最後に役員改選において、太田原会長が勇退を表明し、新会長に佐々木喜八郎氏が選任されました。

顧問となられる太田原会長のご功績に、出席者全員から感謝の言葉と拍手が贈られました。

続いて講演会が開催され、工学部電気電子工学科田山教授により「法人化の現状」と題して、

いま、大学がおかれている様々な問題について講演をいただきました。新会長になったばかりの佐々木氏からは、クルージングのエピソードを交えながら「船旅から見た世界」と題して、きれいな映像とともに世界の表情を伝えていただきました。

懇親会は、井上理事の司会、最古参の阿部源祐氏の乾杯の音頭で始まりました。来賓、新旧会長の挨拶、そして仙台での大事業を果たして今年の仙台支部総会で勇退される千葉仙台支部長の挨拶が続きました。

懇談の合間に、出席者それぞれ引っ張り出されてスピーチさせられたり、会場はすっかり打ち解けて盛り上がりました。

最後は、東京支部大会で次期支部長となる澤藤東京支部長代理の手打ちでお開きとなりました。

この日、6 月の第二土曜日はチャグチャグ馬コの日で、駅前是人だかり。

例年 6 月第二土曜日を総会に予定している岩手大学電気電子情報科会としては、岩手の伝統行事と重なることとなります。一石二鳥、遠方からの総会出席者が増えることを期待しています。



三列目	木村 (情13)	柳橋 (子1)	佐藤 (気13)	井上 (気13)	鎌田 (情4)	柴田 (気10)	久保田 (気15)	佐藤 (電電9)	高橋 (電電9)	
二列目	長田 (気35)	齋藤 (気22)	旗福 (気11)	杉本 (気6)	齋藤 (気7)	細川 (専8)	歳弘 (気6)	及川 (気11)	武田 (気14)	立花 (情8)
一列目	鳥谷部 (情3)	南幅 (子1)	藤原 (科長代)	佐々木 (気1)	太田原 (気3)	阿部 (専1)	千葉 (気1)	澤藤 (気20)	田山 (気14)	

講演会



演題「法人化の現状」
講師 岩手大学工学部電気電子工学科
教授 田山典男氏



演題「船旅からみた世界」
講師 佐々木喜八郎氏
(電気1、28年卒)

平成16年度岩手大学電気電子情報科会総会議事録

日時：平成16年6月12日(土) 13:00～

場所：いわて国保会館(盛岡市)

出席者：30名

1. 開会の辞

司会者：木村彰男(事務局：H3情報卒)

2. 会長挨拶 太田原 功(S30電気卒)

3. 議長及び書記選出

議長：歳弘 健(S33電気卒)

書記：鳥谷部達雄(S56情報卒)、長田 洋(S62電気卒)

4. 議事

議案説明：柳橋好子(事務局：S45電子卒)

(1) 第1号議案 平成15年度事業報告

事務局より平成15年度事業報告が行われ、原案通り承認された。

(2) 第2号議案 平成15年度決算報告

事務局より平成15年度決算報告が行われ、続いて及川二千朗会計監査(S38電気卒)より会計監査報告が行われ、原案通り承認された。

(3) 第3号議案 平成16年度事業計画案

審議に先立ち、事務局より議案書の訂正(項番3に「草刈賞の選考」を挿入し、「その他」を項番4とする)が行われた。その後、事務局より平成16年度事業計画案が提案され、原案通り承認された。

(4) 第4号議案 平成16年度予算案

事務局より平成16年度予算案が提案され、原案通り承認された。

(5) 第5号議案 平成16年度役員選出

事務局より平成16年度役員会名簿案が提案され、原案通り承認された。

5. 新旧交代役員の紹介

現会長の太田原功氏、および会長新任の佐々木喜八郎氏(S28電気卒)の紹介を行った。

また、千葉智行氏(S28電気卒)より、太田原会長の功績をたたえる旨の提案があり、出席者全員より拍手が送られた。

6. 閉会の辞 司会者

平成 16 年度電気電子情報科会役員名簿

(平成 17 年 1 月 1 日現在)

役 職 名	氏 名	卒業 (卒回)	勤 務 先	電 話	
会 長	佐々木 喜八郎	昭28 (気1)		019-654-1265	新任
副 会 長	柏 葉 安兵衛	38 (気11)	岩手大学工学部電気電子工学科	019-621-6388	新任
〃	南 幅 留 男	45 (子1)	岩手県工業技術センター	019-684-1332	再任
〃	鳥谷部 達 雄	56 (情3)	(株)アイシーエス	019-651-2626	再任
理 事	岡 田 整 八	18 (専3)	岡田電気(株)	019-635-1225	再任
〃	関 享 士 郎	34 (気7)		019-662-2092	再任
〃	井 上 隆 志	40 (気13)	(株)IBC岩手放送	019-623-3118	再任
〃	田 山 典 男	41 (気14)	岩手大学工学部電気電子工学科	019-621-6382	新任
〃	塚 本 英 雄	45 (気18)	(株)アイシーエス	019-651-2626	再任
〃	千 葉 則 茂	50 (気23)	岩手大学工学部情報システム工学科	019-621-6465	再任
理 事・事 務 局	柳 橋 好 子	45 (子1)	岩手県地域婦人団体協議会	019-648-6620	再任
理 事・事 務 局	長 田 洋	62 (気35)	岩手大学工学部電気電子工学科	019-621-6381	再任
理 事・事 務 局	木 村 彰 男	平3 (情13)	岩手大学工学部情報システム工学科	019-621-6488	再任
理 事・盛岡支部長	歳 弘 健	33 (気6)		019-663-1284	新任
理 事・東京支部長	澤 藤 隆 一	47 (気20)	三基計装(株)	048-422-9201	新任
理 事・仙台支部長	齋 藤 健	38 (気11)	大和電設工業(株)	022-216-3111	新任
会 計 監 査	及 川 二千朗	38 (気11)	日本下水道事業団岩手事務所	0197-65-5881	再任
〃	旗 福 寛	38 (気11)	岩手大学工学部電気電子工学科	019-621-6364	再任
相 談 役 (元会長)	阿 部 源 祐	16 (専1)		022-273-0072	再任
〃	佐 藤 源 美	17 (専2)		019-647-8271	再任
〃	高 木 三 郎	17 (専2)		019-662-1198	再任
〃	岡 田 整 八	18 (専3)	岡田電気(株)	019-635-1225	再任
〃	小 沢 甚一郎	18 (専3)	自由業	019-663-4424	再任
〃	阿 部 長 一	19 (専4)		019-662-3324	再任
〃	山 崎 時 男	24 (専8)	(株)山崎電気	019-624-6636	再任
〃	細 川 哲 男	24 (専8)		019-623-7776	再任
〃 (前会長)	太田原 功	30 (気3)	岩手県立大学宮古短期大学部	0193-64-2230	新任

役職名	氏名	卒業(卒回)	勤務先	電話	
顧問	佐藤 淳	特別会員		019-662-4563	再任
〃	志田 純一	〃		019-641-1203	再任
〃	佐々木 経夫	〃	オーミ塗装工業	019-641-3355	再任
幹事	村上 佳次	昭20(専5)	東北有放興業(株)	019-622-6777	再任
〃	和田 守之助	25(専9)	和田酒店	019-622-2422	再任
〃	金 孝博	32(気5)		019-654-9351	再任
〃	庄子 幸男	39(気12)	横河電子機器(株)	019-638-5211	再任
〃	外川 俊隆	41(気14)	岩手県庁	019-651-3111	再任
〃	久保田 賢二	42(気15)	岩手大学工学部電気電子工学科	019-621-6385	再任
〃	平 孝清	43(気16)	岩手医科大学	019-651-5111	再任
〃	宮手 敏雄	44(気17)	岩手日報社	019-653-4111	再任
〃	池野 正樹	46(子2)		019-662-6745	再任
〃	菊池 政四	47(気20)	(株)川徳	019-651-1111	再任
〃	岡 英夫	48(子院4)	岩手大学工学部電気電子工学科	019-621-6389	再任
〃	杉村 洋一	49(子5)	いわて生協	019-687-1441	再任
〃	池内 達	50(子6)	岩手県企業局	0197-74-2141	再任
〃	今野 幸洋	53(気26)	盛岡市役所	019-651-4111	再任
〃	千枝 泰航	54(情1)	岩手県庁	019-651-3111	再任
〃	野崎 明裕	55(気28)	岩手県庁	019-651-3111	再任
〃	藤尾 勉	56(子12)	岩手県企業局	019-661-4290	再任
〃	佐藤 信	57(子13)	岩手大学工学部情報システム工学科	019-621-6470	再任
〃	大沢 崇	59(情6)	(株)グレープシステム	019-635-0601	再任
〃	佐藤 文昭	59(子15)	(株)IBC岩手放送	019-623-3119	再任
〃	泉澤 栄	60(子16)	盛岡セイコー工業(株)	019-692-3511	再任
〃	立花 龍一	61(情8)	(株)アイシーエス	019-651-2626	再任
〃	高橋 康浩	62(気35)	岩手県警察本部	019-653-5151	再任
〃	佐々木 真嗣	62(子18)	(株)アイシーエス	019-651-2626	再任
〃	千葉 明嗣	63(情10)	盛岡市水道部	019-623-1411	再任

年 表

電 気 系 学 科 年 表 自 平成 16 年 2 月 至 平成 17 年 1 月	電 気 電 子 情 報 科 会 年 表 自 平成 16 年 2 月 至 平成 17 年 1 月
平成 16 年 (2004 年)	平成 16 年 (2004 年)
<p>2/4 入学願書受付締切. 電気電子工学科: 前期 2.4 倍, 後期 3.9 倍, 情報システム工学科: 前期 2.3 倍, 後期 3.2 倍</p> <p>2/4-5 平成 16 年度大学院工学研究科博士前期課程第 2 次入学者選抜試験. 電気電子工学専攻志願者 12 名 (合格者 8 名), 情報工学専攻志願者 14 名 (合格者 12 名: うち外国人 1 名)</p> <p>2/6 平成 16 年度大学院工学研究科博士後期課程第 2 次入学者選抜試験. 電子情報工学専攻志願者 5 名 (合格者 5 名: うち外国人留学生特別選抜 3 名)</p> <p>2/6 第 7 回電気電子工学科教官発表会 (127 番講義室)</p> <p>2/12 大学院工学研究科博士後期課程公聴会 (電子応用工学講座)</p> <p>2/16 卒業研究発表会 (情報工学科)</p> <p>2/17 大学院工学研究科博士後期課程公聴会 (情報システム工学講座)</p> <p>2/18 修士論文発表審査会 (電気電子工学専攻)</p> <p>2/18-20 修士論文発表審査会 (情報工学専攻)</p> <p>2/25 平成 16 年度個別学力検査 (前期日程)</p> <p>3/1 卒業研究発表会 (電気電子工学科)</p> <p>3/8 前期日程合格者発表. 電気電子工学科 49 名, 情報システム工学科 43 名 (うち私費外国人留学生 3 名)</p> <p>3/12 平成 16 年度個別学力検査 (後期日程)</p> <p>3/22 後期日程合格者発表. 電気電子工学科 21 名, 情報システム工学科 11 名</p> <p>3/23 工学部第 52 回卒業生: 461 名 (電気電子工学科 70 名, 情報工学科 7 名, 情報システム工学科 63 名) 大学院工学研究科博士前期課程第 35 回修了生: 164 名 (電気電子工学専攻 41 名, 情報工学専攻 20 名) 大学院工学研究科博士後期課程第 6</p>	<p>2/11 「きたかみ」編集委員会 (岩手大学工学部電気電子工学科会議室)</p> <p>3/1 「きたかみ」50 号特集号発行 4800 部</p> <p>3/9 新入会員歓迎会 (岩手第一ホテル) 出席者 52 人</p>

3/31	回修了生：10名（電子情報工学専攻2名） 電気電子工学科加藤弘典助手辞職 情報システム工学科Prima Oky Dicky Ardiansyah 助手辞職（岩手県立大学講師として転出）	
4/1	国立大学法人岩手大学発足	
4/2	平成16年度欠員補充第二次学生募集締切。情報システム工学科志願者157名	
4/4	欠員補充第二次募集合格者発表。情報システム工学科9名	
4/7	岩手大学入学式（岩手県民会館）。 工学部入学者：493名（電気電子工学科70名，情報システム工学科78名） 3年次編入学生：電気電子工学科16名，情報システム工学科4名 大学院工学研究科博士前期課程入学者：208名（電気電子工学専攻32名，情報工学専攻36名） 大学院工学研究科博士後期課程入学者：27名（電子情報工学専攻9名）	5/19 電気電子情報科会監査（岩手大学工学部電気電子工学科会議室）
5/24	電気電子工学科ソフトボール大会	5/22 平成16年度第1回理事会（労働福祉会館）出席者18人
5/27	計測自動制御学会 東北支部第215回研究集会（一祐会館）	平成16年度総会に向けて 1）議案書の審議 2）議長・司会者・講師等 3）仙台支部総会について
6/1	開学記念日	
6/10	平成17年度推薦編入学試験。電気電子工学科志願者4名（合格者4名），情報システム工学科志願者1名（合格者1名）	6/12 平成16年度第1回役員会（国保会館）出席者18人
6/26	高校に対する学部公開説明会	平成16年度総会（国保会館）出席者30人
7/8-9	平成17年度一般編入学試験。電気電子工学科志願者29名（合格者16名），情報システム工学科志願者6名（合格者3名）	7/12 平成16年度第1回会長・副会長・事務局会議（岩手第一ホテル） 年会費徴収について 盛岡支部長について
7/15	平成17年度大学院工学研究科博士前期課程推薦入学者選抜試験。情報工学専攻志願者8名（合格者8名）	7/16 仙台支部総会（ハーネス仙台）出席者35人
8/6	電子情報通信学会 電子部品・材料研究会／INS 電子デバイス研究会第27回講演会（電気電子工学科会議室）。参加者約60名	
8/6	大学院工学研究科博士後期課程公聴会（情報システム工学講座）	
8/7	学科スポーツ大会（情報システム工学科）	

9/13-14	平成 17 年度大学院工学研究科博士前期課程入学者選抜試験. 電気電子工学専攻志願者 33 名 (合格者 22 名), 情報工学専攻志願者 24 名 (合格者 16 名:うち外国人 2 名)	8/21	平成 16 年度第 2 回理事会 (国保会館) 出席者 13 人 「きたかみ」51 号について 正会員歓迎会について 草刈賞選考について 年会費徴収について
9/15	平成 17 年度大学院工学研究科博士後期課程入学者選抜試験. 電子情報工学専攻志願者 3 名 (合格者 3 名:うち外国人 1 名)		
9/16-17	静電気学会全国大会 (人文社会科学部)		
9/27-29	電気電子工学科工場見学 (DoCoMo R&D センター, 富士電機アドバンス トテクノロジー, 新日本製鐵君津製鉄所). 3 年次, 引率:長田, 佐藤教員 (参加者 45 名)		
9/27	電気電子工学科工場見学 (女川原子力発電所). 3 年次および 2 年次 (希望者), 引率:西館教員 (参加者 35 名)		
9/29-10/1	大学院工学研究科博士前期課程電気電子工学専攻 2 年次中間発表会		
9/30	学術講演会《情報システム工学科》(電気電子棟 329 室). 「ITS における視覚の利用法」, 小野口一則氏 (弘前大学教授)	10/2	東京支部大会 (東海大学校友会館) 出席者 36 人
10/8	学術講演会《情報システム工学科》(情報棟 225 室). 「長さ標準と光干渉計測」, 平井亜紀子氏 (産業技術総合研究所主任研究員)		
10/15	社長実践学特別講義《電気電子工学科》(22 番講義室). 「電気から学ぶ」, 佐藤利三郎氏 (東北大学名誉教授, 通信・放送機構仙台 EMC リサーチセンター)		
10/21	特別講義《電気電子工学科》(22 番講義室). 「特許法」, 佐藤達哉氏 (日立製作所 知的財産権本部 IP 開発本部)		
10/23-24	大学祭		
10/23	高校に対する学部公開説明会		
10/26	社長実践学特別講義《電気電子工学科》(22 番講義室). 「21 世紀の企業が求める技術者像—経営最前線からの提言—」, 梅 良之氏 (S42 年電気卒, 東北通信建設(株)代表取締役社長)		
10/28-29	電子情報通信学会 環境電磁工学研究会およびマイクロ波研究会合同研究		

11/8-10	会／INS 電子デバイス研究会第 28 回講演会（一祐会館） 大学院工学研究科博士前期課程情報工学専攻 2 年次特別研修発表会		
11/17	平成 17 年度推薦入学試験。電気電子工学科志願者 20 名（合格者 6 名），情報システム工学科志願者 31 名（合格者 16 名）		
11/19	社長実践学特別講義《電気電子工学科》（22 番講義室）。「ソニーマグネティック・プロダクツ・タイランド社長としての実践学」，結城秀朗氏（S41 年電気卒，ソニーマグネティック・プロダクツ・タイランド前代表取締役社長）		
11/24	大学院工学研究科博士前期課程電気電子工学専攻 1 年次中間発表会		
11/26	電気学会東北支部講演会《電気電子工学科》（17 番講義室）。「多様性に富んだプラズマの性質と応用」，桂井 誠先生（東京大学名誉教授）		
11/30	応用物理学会東北支部学術講演会《電気電子工学科》（22 番講義室）。「半導体デバイスの開発」，新倉郁生氏（東京電波㈱取締役）	11/30	平成 16 年度第 2 回会長・副会長・事務局会議（電気電子工学科会議室） 年会費徴収のデータベースについて 年会費徴収のお願い文書について きたかみ 51 号について
12/6	学術講演会《情報システム工学科》（情報棟 106 室）。「画像処理技術の最近の話題」，高木幹雄氏（芝浦工業大学大学院教授）		
12/17	大学院工学研究科博士後期課程会予備審査会（情報システム工学講座）		
平成 17 年（2005 年）		平成 17 年（2005 年）	
1/15-16	大学入試センター試験		
1/21	社長実践学特別講義《電気電子工学科》（22 番講義室）。「チャンスは逃がさず」，池田隆夫氏（S35 年電気卒，富士通エフ・アイ・ピー㈱常任顧問（前代表取締役社長））	1/22	平成 16 年度第 3 回理事会（国保会館） 出席者 16 人 年会費徴収について 新正会員歓迎会について 「きたかみ」51 号進捗状況について 平成 17 年度総会について
1/21	第 5 回 ZnO 研究会／INS 電子デバイス研究会第 29 回講演会（ホテルメトロポリタン盛岡）		
1/21	情報処理学会東北支部研究会（一祐会館）		

2004年10大ニュース

(共同通信社)

国内

1. 震度7の新潟県中越地震が発生、死者40人
2. イラクで邦人の殺害、拉致。自衛隊の派遣を延長
3. 台風上陸が最多の10個、集中豪雨でも被害
4. 北朝鮮拉致被害者家族が帰国、ジェンキンスさんも来日
5. プロ野球が大再編、選手会は初ストライキ
6. 三菱自、西武鉄道など名門大企業のモラル問われる経済事件
7. 小学6年の女児の同級生殺害など子どもをめぐる事件多発
8. 国民年金未納問題官房長官ら辞任。年金改革法成立
9. 参院選挙で民主党が躍進、新代表に岡田氏
10. 79年ぶりに国内で鳥インフルエンザ

国際

1. イラク情勢は混迷、米軍の死者1200人超
2. ブッシュ米大統領が民主党ケリー候補破り再選
3. アテネ五輪で日本選手善戦、メダル最多の37個
4. 米大リーグでイチロー、松井秀喜らが活躍
5. アラファト・パレスチナ自治政府議長が死去
6. 北オセチアの学校占拠などチェチェン独立派のテロが続発
7. 中国で江沢民軍事委主席が退任、胡錦濤国家主席の権力確立
8. 原油価格が高騰、一時1バレル=50ドル台
9. アジアで鳥インフルエンザが猛威
10. スペインで列車同時爆破テロ、死者多数
11. 【番外】スマトラ沖地震と津波で1万4千人(12月27日現在)を超える犠牲者

編集後記

昨年は「災」の一字で代表されるように、各地の台風や水害、それに阪神淡路大震災から10年を経て人々の気持ちもほっとしかけた矢先の新潟県中越地震でした

新潟にお住まいの会員の皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

また、年末には世界的な大津波で震撼とさせられました。

いまこの編集後記を書いている窓の外では、雪が降り続けております。

でも、この「きたかみ」51号がお手元に届くころは、春の兆しを感じられることと思います。待ち遠しい春です。

さて、今回から一祐会の会誌に同封していただく関係で、同じくA4判になりました。

初めてのことなので出来上がるまで、その雰囲気がかめませんが、字が多少大きくなった分、読みやすくなったかもしれません。

また、「草刈賞受賞者」を紹介するページを設け、記念すべき第一回受賞者の写真とコメントを掲載しました。頼もしい後輩たちのますますの活躍を応援していただければ幸いです。

50号は草刈先生ご生誕100年記念特集号で、編集委員も長年「きたかみ」を手がけてきた歳弘さんをはじめ、7人でした。この51号は、素人集団3人の事務局が担当しました。

一生懸命やったつもりですが、至らぬ点多々目に付くことと存じます。どうぞお許し下さる様お願いいたします。

会員の皆さまにとって、今年は「災い」転じて「福」となす年でありますよう、お祈りいたしております。

編集委員

事務局 電気62年 長 田 洋
情報平3年 木 村 彰 男
電子45年 柳 橋 好 子

き た か み 第51号

発行日 平成17年3月1日
発行者 盛岡市上田4丁目3番5号
岩手大学工学部内
岩手大学電気電子情報科会
☎ 019-621-6381
印刷所 (株)阿部謄写堂
盛岡市本町通2丁目8番37号
☎ 019-623-2361

平成 17 年度総会並びに懇親会開催の御案内

平成 17 年度の電気電子情報科会総会は、下記のように開催することになりましたので御案内申し上げます。会員各位の多数の御参加をお待ちしております。

なお、住所や勤務先等の確認にも使用させていただきますので、綴り込みのハガキで総会への出欠を、1 カ月前の平成 17 年 5 月 11 日までにご連絡を頂きたいお願い申し上げます。

記

日 時 平成 17 年 6 月 11 日 (土)
総 会 午後 3 時 00 分～4 時 00 分
講演会等 午後 4 時 00 分～5 時 00 分
懇 親 会 午後 5 時 00 分～7 時 00 分

場 所 いわて国保会館
盛岡市大沢川原三丁目 7-30
TEL 019-623-4321

議 題 1. 平成 16 年度事業報告、決算報告承認
2. 平成 17 年度事業計画案、予算案審議
3. その他

講演会 「21 世紀に華ひらく (仮題)」～ 21 世紀 COE プログラム～
講師 岩手大学工学部電気電子工学科助教授 長田 洋氏

懇親会会費 5,000 円

連絡先 会誌「きたかみ」に綴り込みのハガキを使用するか、下記事務局宛電話、Fax 又は E-mail 等でご連絡下さい。

岩手大学電気電子情報科会事務局 (岩手大学工学部電気電子工学科 432 号室) 兼

電気電子工学科担当 長 田 洋 TEL・FAX 019-621-6381

E-mail osada@iwate-u.ac.jp

情報システム工学科担当 木 村 彰 男 TEL・FAX 019-621-6488

E-mail kimura@cis.iwate-u.ac.jp

庶務会計・学外担当 柳 橋 好 子 TEL・FAX 019-686-2253

E-mail t.k-yngbs@nifty.com